

新工場長 就任のあいさつ

平成30年12月1日付けで大田清掃工場長に就任いたしました、古舘 陽（ふるだてのぼる）と申します。

地域の皆様には、大田清掃工場の運営に関し、日頃より多大なご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

大田清掃工場は今年度、大きなトラブルもなく、安定したごみ処理を行ってまいりました。

これからも地域の皆様との信頼関係を大切にし、安全で安定した清掃工場の効率的運営に職員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



工場長 古舘 陽

平成30年度定期点検補修工事を実施しています



定期点検補修工事とは、一年に一度焼却炉を停止して行うメンテナンスのことです。この期間中に、焼却炉を停止しなければ実施できない設備や機器の精密点検や整備等を実施しています。

例えば左の写真は、ボイラ設備のボイラ給水ポンプを分解整備して精密な点検と清掃をしているところです。配管や軸受など、様々なパーツを細部まで分解し、異常がないかどうかをしっかりと確認します。

定期点検補修工事は、清掃工場が安定的かつ継続的に稼働するうえで必要不可欠な、一年に一度の大切な作業です。

放射能等測定結果

大田清掃工場では、排ガス・焼却灰等の放射能濃度、敷地境界・灰処理設備等の空間放射線量率を定期的に測定しています。

右表は、平成30年7月から12月までの、敷地境界での空間放射線量率の測定結果です。大田区が定期的に定点測定している区内の値と大きな差はありません。

なお、排ガス・焼却灰等の放射能等の測定結果については、清掃一組のホームページで公表しています。

空間放射線量率（平成30年）		
測定月	単位：μSv/h	
	敷地境界	大田区内
7月	0.04~0.08	0.05
8月	0.04~0.09	0.06
9月	0.04~0.09	0.05
10月	0.04~0.09	0.06
11月	0.04~0.10	0.05
12月	0.04~0.09	0.06

※地表の高さ1mでの測定結果です。

施設紹介 ～排ガス洗浄処理装置～

このコーナーでは、大田清掃工場の施設をごみ処理の過程に沿って紹介します。
今回は有害ガスを除去するための重要な設備である「排ガス洗浄処理装置」の紹介です。

「排ガス洗浄処理装置」とは、読んで字のごとく排ガスを洗浄するための設備です。

ごみの燃焼に伴い発生する排ガスには「硫黄酸化物」、「塩化水素」等の有害物質が含まれます。これらは大気汚染の原因となる物質です。

これらの有害物質を取り除くために、処理装置内部のノズルから排ガスへ、水と薬品を霧状にして吹きかけています。さらに、有害物質除去効率を高めるために「充填材」と呼ばれる網目状の構造物を設置し、薬品と排ガスの接触面積を増加させる工夫をしています。

こうした工夫によって、排ガスに含まれる「硫黄酸化物」、「塩化水素」の濃度は自己規制値以下まで下がります(※)。

排ガス洗浄処理装置で排ガスに含まれる有害物質を取り除き、公害防止に努めることで、環境に与える負荷を減らしています。

※自己規制値

■硫黄酸化物：10ppm ■塩化水素：10ppm



工場見学会のお知らせ

大田清掃工場では「個人見学会」と「団体見学」を下記のとおり実施しています。見学をご希望の方は、大田清掃工場までお気軽にお問合せください。

そのほか、交通手段などの詳細は、清掃一組のホームページをご覧ください。

清掃一組



受付人数	実施日	実施時間
個人 9名以下	毎月第2土曜日	13:30～15:00
団体 10名以上	月曜日～金曜日（祝日を除く）	9:30～11:00 または 13:30～15:00

※年末年始、定期点検補修工事期間を除く

見学のお申込み・お問合せはこちら



プレン

大田清掃工場

03-3799-7555

受付時間

月曜日～土曜日 9:00～17:00



シップ